



男女共同参画 ★スタディーズ★

キーワードは
‘多様性’

一人ひとりのもつ違いを受け入れ、
多様性を活かすことは・・・？

日本は、男女平等ランキング 101 位*と、依然として評価が低いのはどうしてでしょうか。社会の動きを知り、自分らしく生きることの出来る<男女共同参画社会>について、‘多様性’をキーワードに考えてみませんか。

【いずれも 10~12 時】

① 6月4日(土)

「**そもそも、男女共同参画とは？**」～ハラスメントはなぜ起こる？～
牟田和恵さん 大阪大学大学院人間科学研究科 教授

② 6月11日(土)

「**ジェンダー視点で、憲法を読むと？**」～女性が個人として生きるために～
岡野八代さん 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 教授

③ 6月18日(土)

「**守られている？ 私たちの人権**」～法とジェンダー～
吉田容子さん 市民共同法律事務所 弁護士

④ 6月25日(土)

「**性の多様性とは？**」～誰もが生きやすい社会をめざして～
東優子さん 大阪府立大学地域保健学域(教育福祉学類) 教授

⑤ 7月2日(土)

「**世界の中の、日本の女性**」～私たちのめざすものとは～
田上時子さん NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長

* 世界各国の男女平等の度合いを指数化した世界経済フォーラム(WEF)2015年版「ジェンダー・ギャップ指数」で、日本は 145 か国中 101 位。

◇ 日 時 : 6月4日~7月2日の土曜日、各 10~12 時 [5 回講座]

◇ 対 象 : テーマに関心のある方 40 人 <先着順>

◇ 保 育 : 10 人 (1歳~就学前まで) 無 料 要予約

◇ 申込み : 電話(0797-86-4006)または 窓口 で受付

*** センターの HP から申込みが出来ます ***

参加費
無 料



★★★ 6月23日~29日は「男女共同参画週間」です ★★★

主 催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

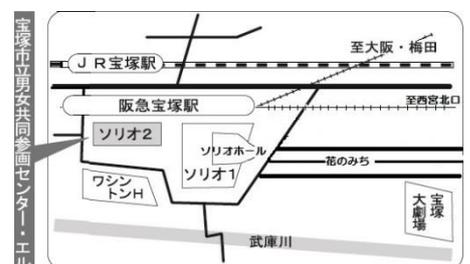
NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町 2-1-2 「ソリオ2」 4 階

電話 : 0797-86-4006 FAX : 0797-83-2424

http://www.takarazuka-ell.jp/

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



※申込みにあたってお預かりする個人情報は本講座以外の目的で使用することはありません。



『男女共同参画スタディーズ』 ☆ 講師紹介 ☆



むた かずえ
牟田 和恵さん 大阪大学大学院人間科学研究科 教授

①

社会学者(歴史社会学、ジェンダー論)。1989年、日本で初めて「セクハラ」の語を流通させるきっかけとなった福岡セクハラ裁判に関わる。現在「キャンパス・セクシュアル・ハラスメント・全国ネットワーク」の中心メンバーのひとりとして、この問題に理論・実践の両面から取り組む。著書に『家族を超える社会学-新たな生の基盤を求めて』(新曜社)、『部長、その恋愛はセクハラです!』(集英社新書)ほか。

おかの やよ
岡野 八代さん 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 教授

②

専攻は、フェミニズム理論、政治思想。主な著書は『法の政治学-法と正義とフェミニズム』(青土社)、『シティズンシップの政治学-国民・国家主義批判』(白澤社)、『フェミニズムの政治学-ケアの倫理をグローバル社会へ』(みすず書房)、訳書に、D.コーネル『女たちの絆』(共訳・みすず書房)、E.F.キティ『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』(共監訳・白澤社)、I.M.ヤング『正義への責任』(共訳・岩波書店)など。近著に『戦争に抗する-ケアの倫理と平和の構想』(岩波書店)、『憲法のポリティカ-哲学者と政治学者の対話』(共著・白澤社)がある。



よしだ ようこ
吉田 容子さん 市民共同法律事務所 弁護士・立命館大学法科大学院 教授

③

主として外国籍女性を含む女性の権利に関わる事件を扱う。日弁連両性の平等に関する委員会委員。近時の著作として、「第1章 データからみる性暴力被害の実態-判決で描かれる性暴力被害と実態との乖離」『性暴力被害の実態と刑事裁判』(信山社 2015)、「第7章 離婚後の親子-法実務の動向」『離婚後の親子関係を問い直す 子どもの福祉と家事実務の架け橋をめざして』(法律文化社 2016)がある。

ひがし ゆうこ
東 優子さん 大阪府立大学地域保健学域(教育福祉学類) 教授

④

研究テーマは「性の健康と権利」。社会活動としては、GID(性同一性障害)学会 第17回研究大会『トランスジェンダーの健康と権利』大会 会長、WAS(世界性の健康学会)性の権利委員会 委員長、特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ理事など。共著『子どもの医療と生命倫理』(法政大学出版局)など多数。大阪府立大学女性学研究センター副主任。



たがみ ときこ
田上 時子さん NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長

⑤

早稲田大学卒業後、カナダ留学。1988年9月に帰国。子どもの力を信じ、幼児期から思春期にいたるまであらゆる子どもの問題に取り組み、子どもと親をサポートする活動を精力的に行っている。2011年文部科学大臣より「社会教育功労賞」受賞。JICA人身取引被害者支援・自立支援促進プロジェクト短期専門家。2015年10月「人身取引に関する日・タイ合同ワークショップ」を企画運営。

『ありのままに自分らしく生きられるまち宝塚』

・・・宝塚市は、誰もが生きやすい社会をめざして
取り組みを始めています・・・

